

SalesConnected

棚卸差異の原因候補分析レポート

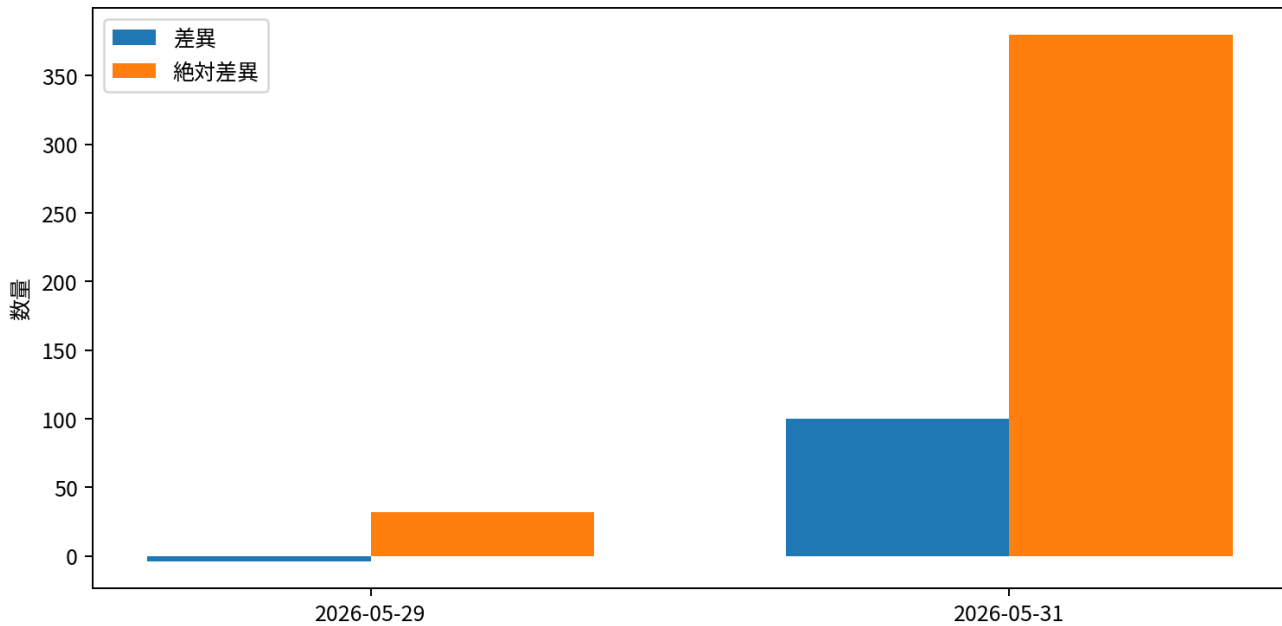
店舗管理者向け / 対象棚卸日: 2026年5月29日・2026年5月31日

エグゼクティブサマリー

- 全体では、実棚数量 42,532 点、システム在庫 42,436 点で、差異合計は +96 点です。
- ただし、プラスとマイナスが相殺されており、絶対差異は 412 点、差異行数は 173 行あります。
- 棚卸差異は 2026 年 5 月 31 日に集中しています。同日の絶対差異は 380 点で、全体の約 92% を占めます。
- 店舗別では、5 月 31 日に棚卸した 10 店舗で同じ傾向が見られ、共通の棚卸手順・入力・取込処理の確認が必要です。
- 原因仮説は「人的ミス・棚卸入力ミス」「入荷処理漏れ」「店舗間移動処理漏れ」を優先的に確認すべきです。

1. 棚卸日別の差異状況

棚卸日別の差異状況

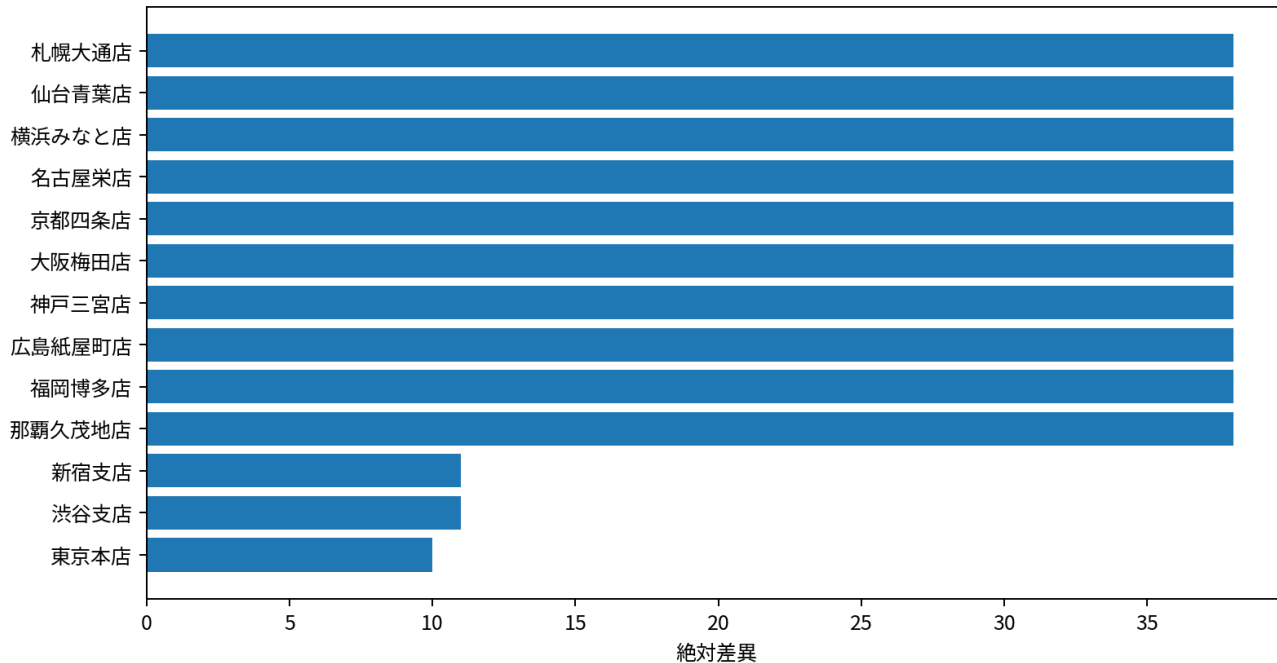


棚卸日	店舗数	商品数	システム在庫	実棚数量	差異	絶対差異	差異行数
2026-05-29	3	63	9,681	9,677	-4	32	23
2026-05-31	10	63	32,755	32,855	+100	380	150

ポイント: 5月31日は店舗数が多く、差異行数も150行あります。まず5月31日の棚卸手順、入力・取込ログ、担当者を重点的に確認してください。

2. 店舗別の差異状況

店舗別の絶対差異（点）

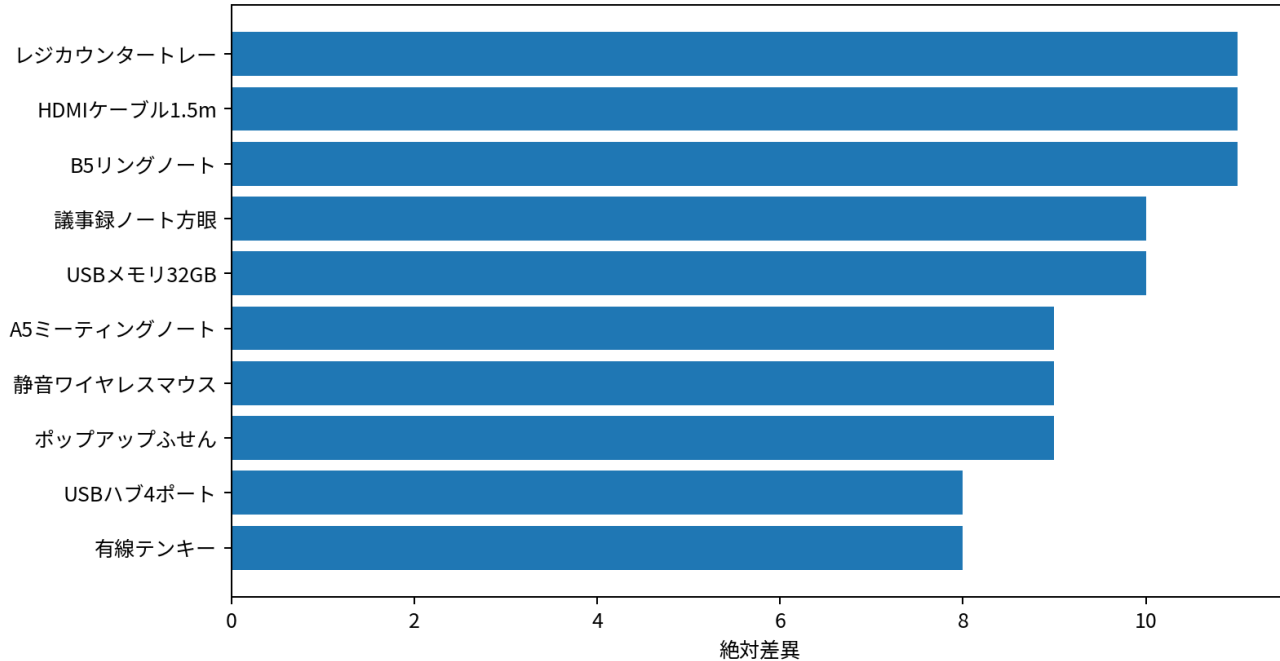


店舗	システム在庫	実棚数量	差異	絶対差異	差異行数
札幌大通店	3,254	3,264	+10	38	15
仙台青葉店	3,377	3,387	+10	38	15
横浜みなと店	3,310	3,320	+10	38	15
名古屋栄店	3,243	3,253	+10	38	15
京都四条店	3,176	3,186	+10	38	15
大阪梅田店	3,299	3,309	+10	38	15
神戸三宮店	3,232	3,242	+10	38	15
広島紙屋町店	3,260	3,270	+10	38	15
福岡博多店	3,288	3,298	+10	38	15
那覇久茂地店	3,316	3,326	+10	38	15
新宿支店	3,236	3,235	-1	11	8
渋谷支店	3,090	3,089	-1	11	8
東京本店	3,355	3,353	-2	10	7

見方: 差異がプラスの場合は「実物がシステムより多い」状態、マイナスの場合は「実物がシステムより少ない」状態です。

3. 商品別の差異上位

商品別 絶対差異上位10商品 (点)



商品	大カテゴリ	中カテゴリ	小カテゴリ	システム在庫	実棚数量	差異	絶対差異	主な仮説
レジカウンタートレー	店舗・設備用品	店舗備品	レジ・カウンター備品	666	669	+3	11	入荷・移動入庫漏れ / 一部店舗の販売計上漏れ
HDMI ケーブル 1.5m	文具・事務用品	OA・PC アクセサリー	ケーブル・USB用品	760	763	+3	11	店舗間移動処理漏れ / 商品取り違い
B5 リングノート	文具・事務用品	ノート・紙製品	ノート・帳票	606	609	+3	11	入荷処理漏れ / 棚卸入力ミス
議事録ノート方眼	文具・事務用品	ノート・紙製品	ノート・帳票	733	735	+2	10	入荷処理漏れ / 棚卸入力ミス
USB メモリ 32GB	文具・事務用品	OA・PC アクセサリー	ケーブル・USB用品	646	648	+2	10	入荷処理漏れ / 店舗間移動入庫漏れ
A5 ミーティングノート	文具・事務用品	ノート・紙製品	ノート・帳票	798	803	+5	9	入荷処理漏れ / 棚卸入力ミス
静音ワイヤレスマウス	文具・事務用品	OA・PC アクセサリー	PC 周辺機器	638	643	+5	9	入荷・移動入庫漏れ
ポップアップふせん	文具・事務用品	ノート・紙製品	ふせん・メモ	642	647	+5	9	棚卸入力ミス / 入荷処理漏れ
USB ハブ 4 ポート	文具・事務用品	OA・PC アクセサリー	ケーブル・USB用品	695	699	+4	8	入荷処理漏れ / 店舗間移動漏れ
有線テンキー	文具・事務用品	OA・PC アクセサリー	PC 周辺機器	659	663	+4	8	入荷・移動入庫漏れ
宛名ラベルシート A4	文具・事務用品	事務消耗品	ラベル用品	725	729	+4	8	入荷処理漏れ / 返品処理未反映
LED デスクライト調光式	店舗・設備用品	照明・電源	デスクライト	511	515	+4	8	入荷処理漏れ / 棚卸入力ミス

4. 店舗×商品の確認例

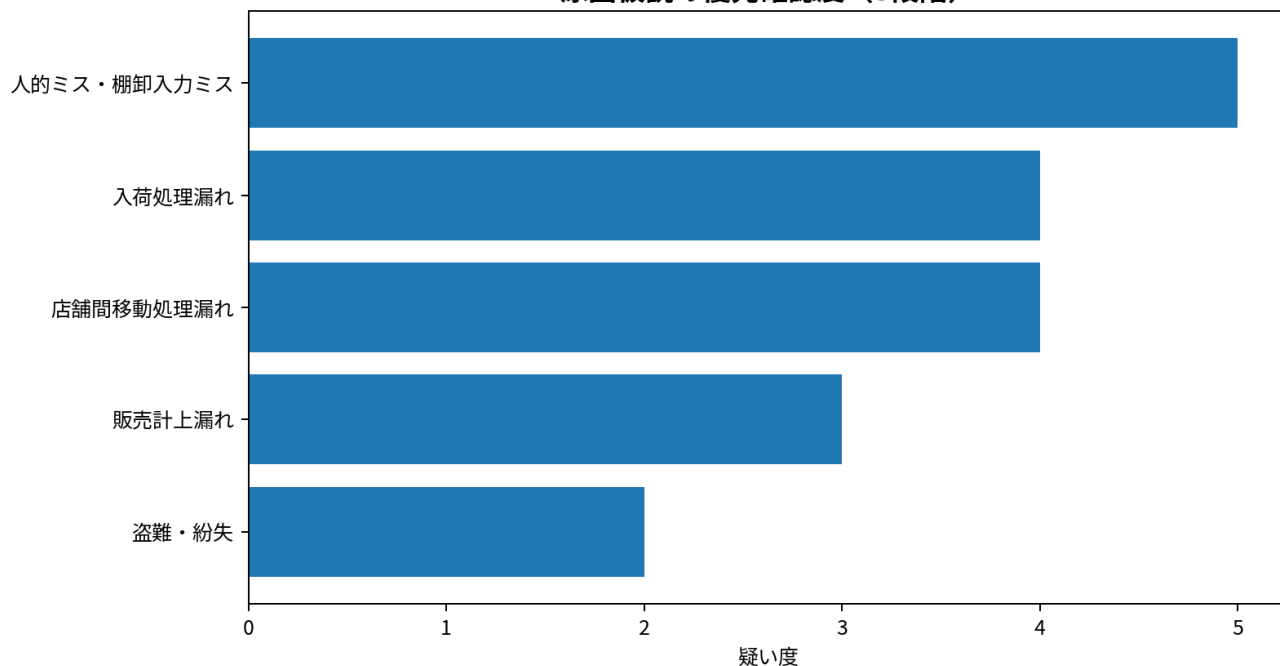
明細データから、店舗別にプラス差異・マイナス差異の例を抽出しました。再カウントや証跡確認の起点として利用してください。

店舗	商品	システム在庫	実棚数量	差異	仮説
札幌大通店	卓上 LED ライト	5	8	+3	入荷処理漏れ、店舗

					間移動入庫漏れ
札幌大通店	蛍光マーカー5色セット	39	37	-2	販売計上漏れ、棚卸カウント漏れ
仙台青葉店	USB Type-C ケーブル 2m	23	26	+3	入荷処理漏れ、商品取り違え
横浜みなと店	強粘着テープカッター	17	20	+3	入荷処理漏れ、移動入庫漏れ
名古屋栄店	USB ハブ 4ポート	5	3	-2	販売計上漏れ、紛失
京都四条店	クリアホルダー50枚	6	9	+3	入荷処理漏れ、棚卸入力ミス
大阪梅田店	USB Type-C ケーブル 2m	67	65	-2	販売計上漏れ、店舗間移動出庫漏れ
神戸三宮店	レバー式アーチファイル	75	75	0	上位商品でも店舗別には差異なし
広島紙屋町店	卓上 LED ライト	82	85	+3	入荷処理漏れ
福岡博多店	B5 リングノート	6	9	+3	入荷処理漏れ、棚卸入力ミス
那覇久茂地店	クリアファイル 20枚パック	6	4	-2	販売計上漏れ、紛失

5. 原因仮説の優先度

原因仮説の優先確認度（5段階）



原因候補	疑い度	典型パターン	確認証跡
人的ミス・棚卸入力ミス	高	プラス・マイナスが混在、複数店舗で同じ傾向	棚卸原票、入力者、入力時刻、ハンディ/CSV 取込ログ、再カウント結果
入荷処理漏れ	高	実棚がシステムより多い	納品書、仕入伝票、入荷検品記録、入荷確定ログ
店舗間移動処理漏れ	高	出庫側と入庫側で差異の向きが反対	店舗間移動伝票、出庫/入庫処理ログ、社内便記録
販売計上漏れ	中	実棚がシステムより少ない	POS 売上明細、未確定伝票、返品/取消履歴、手書き伝票
盗難・紛失	限定的	小型・高回転商品で実棚不足が続く	防犯カメラ、廃棄/破損報告、社内利用記録、バックヤード確認

6. 次に確認すべきアクション

1. 差異上位商品の再カウントを実施する: レジカウンタートレー、HDMI ケーブル 1.5m、B5 リングノート、議事録ノート方眼、USB メモリ 32GB を優先。
2. 2026年5月31日の棚卸入力・取込ログを確認する: 10店舗で同じ差異傾向があるため、共通手順やCSV取込ルールを確認。
3. プラス差異の商品は入荷処理・移動入庫処理を確認する: 納品済み未入力、店舗間移動の入庫漏れ、返品戻し未反映を確認。
4. マイナス差異の商品は販売計上・移動出庫・社内利用を確認する: POS未確定、手書き伝票、移動出庫漏れ、破損/廃棄処理漏れを確認。
5. 再カウント後も差異が残る小型商品は、紛失・盗難・棚違いを確認する: ケーブル、USBメモリ、ラベル、ふせんなどを重点確認。

7. 店舗管理者への確認事項

対象者	確認事項
棚卸担当者	バーコードスキャンか手入力か。ケース単位と個数単位を混同していないか。棚卸対象外のバックヤードを含めたか。
レジ・販売担当者	棚卸日前後の未確定売上、手書き伝票、返品・取消、社内利用の未処理がないか。
入荷担当者	納品済みだが未入荷処理の商品、一部入荷・分納の処理漏れ、入荷確定前の店頭出しがないか。
店舗間移動担当者	出庫・入庫の片側だけ未処理になっていないか。移動先店舗を誤登録していないか。
店長・管理者	差異上位商品の保管場所、棚替え、展示品・サンプル転用、廃棄・破損報告の有無を確認。

8. 最終判断

- 今回の棚卸差異は、まず盗難・紛失よりも、棚卸入力・取込、入荷処理、店舗間移動処理の確認を優先すべきです。
- 差異が小さく見える店舗でも、商品別にはプラスとマイナスが相殺されている可能性があります。差異合計だけでなく絶対差異を見る必要があります。
- 店舗管理者は、再カウント -> 棚卸入力ログ -> 入荷/移動/販売証跡 -> 盗難・紛失確認、の順で確認すると効率的です。